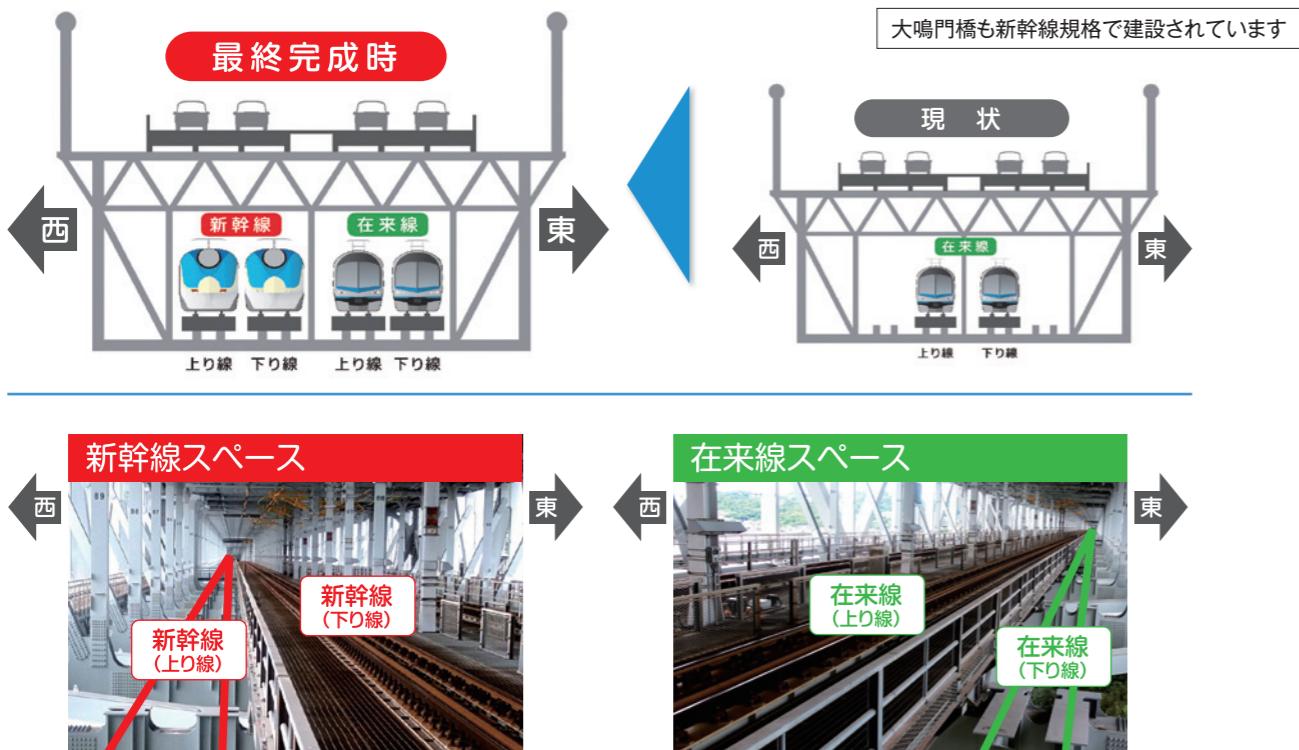


瀬戸大橋は、新幹線規格 今あるインフラを有効活用できます



新幹線の整備は有益・優良な公共事業です

既に開業している新幹線は、それぞれの地域の経済活性化や観光振興等に大きく貢献しています。

新幹線施設は、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設・保有し、JRは、それを借り受けて運行し、貸付料を支払います。

建設費はJRが支払う貸付料(開業区間)と国・地方の公費で賄われますが、地方交付税措置により地方負担は引き下げられ、実質負担は公費の1~2割程度となります。

維持管理は運賃収入で賄われ、公費は投入されません。

当該地域のJRが
新幹線を運行・管理

施設の貸付(上下分離) 貸付料の支払い

(独) 鉄道・運輸機構が
施設を建設・保有

↑ 建設費の負担

公共事業方式

貸付料	+ 国(2/3)	地方(1/3)
	交付税(國)	自己財源

地方の実質負担は12%~18%程度

出典：国土交通省鉄道局資料

四国の新幹線を実現するためには

整備計画への格上げを目指し、四国が一丸となって
要望を続ける必要があります。最も重要なのは、

＼新幹線を四国に！／との地元の熱い思いです。

四国の新幹線の詳しい情報については、四国鉄道活性化促進期成会HPをご覧ください。

今こそ考えよう。四国の未来のために。

発行：四国の鉄道高速化連絡会・四国鉄道活性化促進期成会

(徳島県・香川県・愛媛県・高知県・四国経済連合会・四国商工会議所連合会・四国公共交通議員連盟)

平成28年5月発行

四国の新幹線

検索



四国の鉄道高速化連絡会・四国鉄道活性化促進期成会

(徳島県・香川県・愛媛県・高知県・四国経済連合会・四国商工会議所連合会・四国公共交通議員連盟)

さあ、次は四国の番だ。

今こそ考えよう。四国の未来のために。 四国の新幹線実現を目指して

TOKUSHIMA
KAGAWA
EHIME
KOCHI

全国で当たり前のインフラとなった新幹線 四国は唯一の空白地域です

全国新幹線鉄道網の整備状況



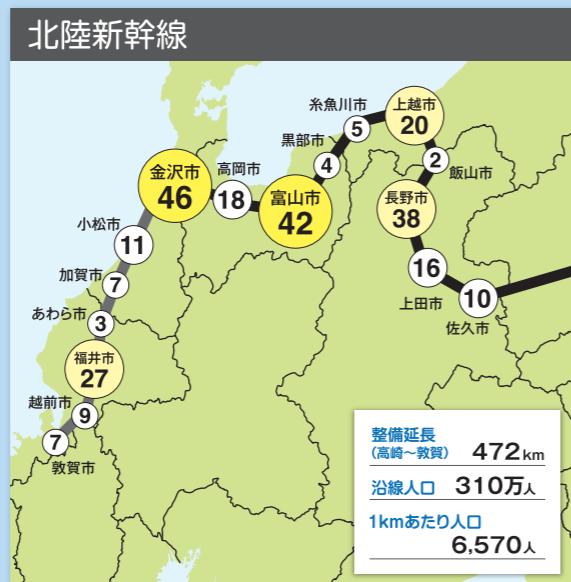
四国の新幹線整備のイメージ



新幹線は地方創生、人口減少対策に寄与します

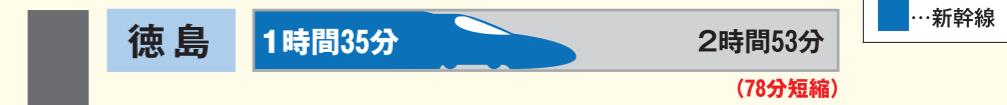
- 交流人口が拡大し、経済発展や観光活性化をもたらします
- 企業立地が進み、雇用創出により人口流出が抑制されます
- 新幹線は 災害に強い地域づくりに貢献します
- 新幹線は 鉄道ネットワークの維持に貢献します

四国の新幹線は、人口集積からみて、当然実現されるプロジェクトです

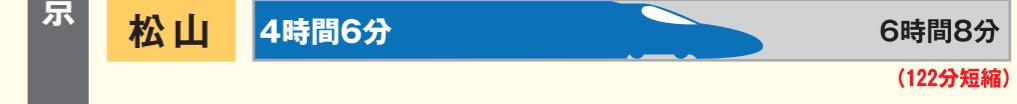
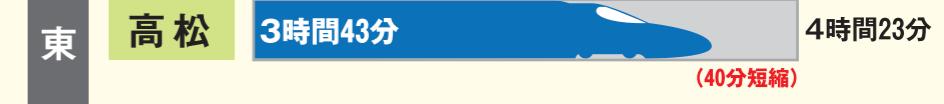


交流圏域が拡大し、四国は一体になります

● 四国4県都~新大阪が約1時間半で結ばれます



● 四国4県都~東京が約4時間程度で結ばれます



● 四国4県間が約1時間以内で結ばれます

